

森・草むら・公園などに
生息しています



※マダニ拡大イメージ

そのマダニ ウイルスをもっているかも？

病原体をもったマダニに咬まれることで、「重症熱性血小板減少症候群 (SFTS)」や「日本紅斑熱」等に感染する恐れがあります。

SFTS とは

主にウイルスを保有しているマダニに咬まれて感染するダニ媒介感染症です。

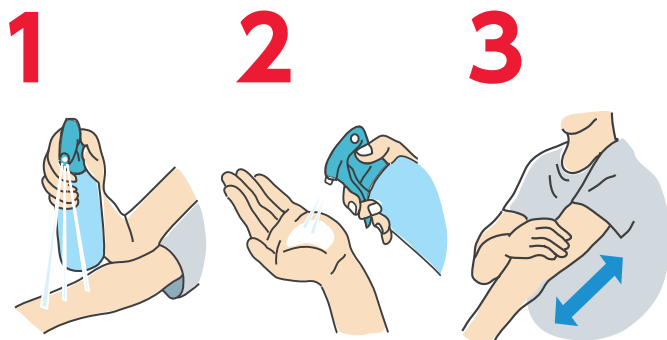
60歳以上の方、特に注意！

長崎県
全国ワースト
2位

※人口10万人対比・SFTS 報告数
(人口：総務省統計局 2023 年 10 月人口推計、
SFTS：2024 年第 25 週時点数値)

効果的な対策

虫よけ剤を正しく使う



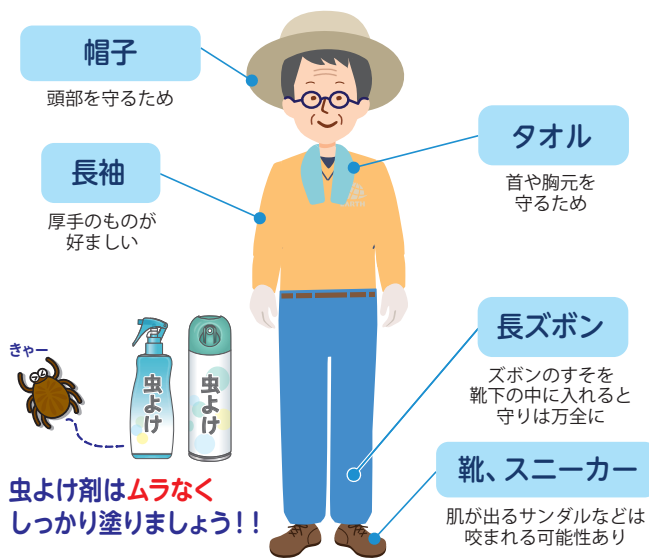
腕・足などお肌の露出部分には約15cmの距離からスプレーしてください。

顔・首筋には手のひらにスプレーしてお肌に塗ってください。

塗りムラのないように伸ばして塗り広げてください。

※汗をかくと虫よけ剤が流れてしまうので、その都度塗り直すことが大切です。

肌を露出しない服装



虫よけ剤はムラなく
しっかり塗りましょう!!

※室内外で飼育する愛玩動物による家屋内持ち込みにも注意が必要です

マダニに咬まれた! そんな時は・・・

- ▶無理に引き抜こうとせず、医療機関(皮膚科)で処置(マダニの除去、洗浄など)をしてもらってください。
- ▶マダニに咬まれた後、数週間程度は体調の変化に注意をし、発熱等の症状が認められた場合は医療機関で診療を受けてください。



長崎県



アース製薬

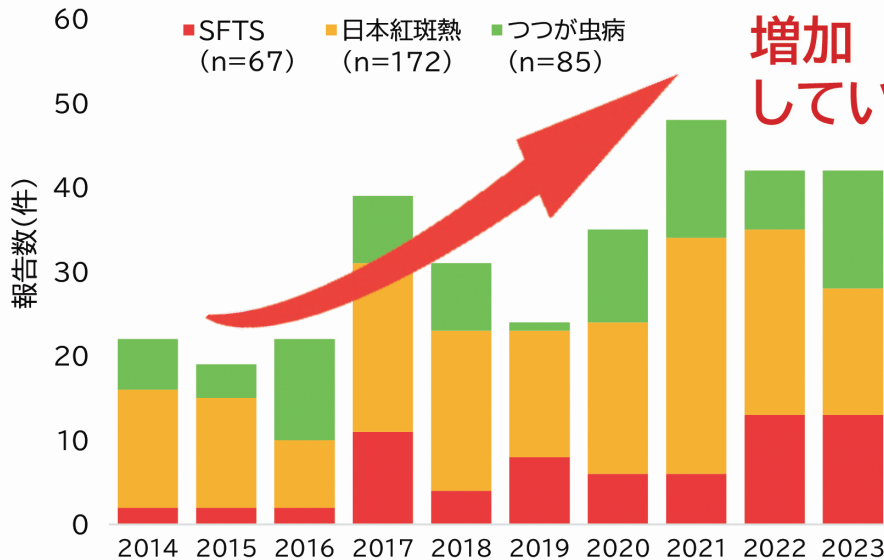
長崎県ダニ媒介感染症
情報はコチラ▶



長崎県とアース製薬は包括連携協定を締結し、安全安心で健康な暮らしに関する取り組みを進めています。

長崎県におけるダニ媒介感染症報告数 推移

2014～2023年



SFTSの届出地域

2023年 n=134



「ダニ媒介感染症」とは

- ダニ類に咬まれて感染する病気が増加しています。
- 長崎県では、重症熱性血小板減少症候群(SFTS)、日本紅斑熱、つつが虫病が報告されています。
- 特にSFTSは西日本を中心に報告があり、長崎県も報告が多い地域です。
- SFTSは、2013年に初めて確認された新しい感染症で、致死率10～30%*と高いため、『咬まれない対策』と『早期受診』が大切です。

* 厚生労働省ホームページ「重症熱性血小板減少症候群SFTSについて」より(2024/6/27時点)

『咬まれない対策』

- 除草・農作業、レジャー等屋外で活動する際は、草むらにいるマダニに注意が必要です。
- 肌の露出を少なくした服装で作業し、虫よけ剤を使用してください。
- 作業後は、服をよくはたいて、マダニを家に持ち込まないようにしましょう。
- 早めにお風呂に入り、肌にマダニが付いていないか確認しましょう。
- ネコやイヌ等がマダニを付けて家に持ち込まないように、マダニが付着していないか確認し、こまめにブラッシングをしましょう。
- ネコやイヌが病気にかかっていることがあります。体調不良の動物や死骸は素手で触らないでください。

『早期受診』

- 受診のタイミングは2回あります。1回目は皮ふを咬んでいるマダニを見つけた時、2回目は発熱などの症状が出た時です。どちらの場合も、早めに受診をしてください。
- SFTSは、発熱、倦怠感、食欲不振、下痢や嘔吐などの消化器症状が多くみられます。
- 日本紅斑熱とつつが虫病では、発熱、発疹、刺し口が主な症状です。

問合せ先

西彼保健所	095-856-5059	県央保健所	0957-26-3306
県南保健所	0957-62-3289	県北保健所	0950-57-3933
五島保健所	0959-72-3125	上五島保健所	0959-42-1121
壱岐保健所	0920-47-0260	対馬保健所	0920-52-0166
長崎市保健所	095-829-1172	佐世保市保健所	0956-24-1111